

六葉会 会報

2014年
4月号



関東学院六浦中学校・高等学校同窓会

<http://www.rokuyoukai.com>

表紙を飾る 版画家 大庭 明子さん (23 回生)

カラフルでパワフルな作品で
幅広く活躍する大庭さん！
みなさんの応援、
よろしくお願い致します。



Akiko Oba

表紙の作品紹介

「ナフトブZ」 12.7×16.6(cm) 木版画 2014

近頃近所ではなわ跳びに興じることもたちを見かけません。けれどいくつになってもびよんびよん跳ぶ楽しさを思い出せます。上手に跳べても跳べなくても....さあZもなわとび。みんな跳ぼー跳ぼー。

略 歴

- 1956 神奈川県逗子市に生まれる
- 1978 ~ '97 神奈川県版画アンデパンダン展
- 1979 東京造形大学絵画科版画研究室卒業 (教授：馬場栲男)
- 1980 ~ '89 神奈川県美術展 (受賞 '80, '82, '83, '84, '86)
- 1981 ~ '88 日本版画協会展 (受賞 '87)
- 1981 ~ 個展 (各地)
- 1982 版画〈期待の新人〉展 (りゅう画廊)
- 1984 イベザグラフィック展 (スペイン)
- 1985 文化庁芸術家国内研修員 (指導：磯見輝夫)
平和への青年芸術家展 (ポーランド)
- 1987・'91 Small Graphic Forms, Lodz Poland (ポーランド)
- 1987 第21 回現代美術選抜展 (文化庁)
- 1989 Petit Format de Papier = Japon 1989 (ベルギー、フランス)
- 1991・2002 C.W.A.J. 現代版画展 (アメリカン・クラブ)
- 1992 横浜の作家たち (横浜、ルーマニア：コンスタンツァ、ブカレスト)
- 1994 ビトラ国際版画トリエンナーレ (マケドニア：ビトラ)
- 2008 絵本「ことばのくにのマジックショー」
(アリス館 手品：大友剛 ことば：中川ひろたか)
- 2009 絵本「にくまん どっち？」(アリス館 文：荻田澄子)
- 収 蔵 神奈川県民ホール、神奈川県立かながわ女性センター、
厚木市民文化会館、横浜市民ギャラリー、大学版画協会、
逗子文化プラザホール

●大庭さんのホームページはこちら。

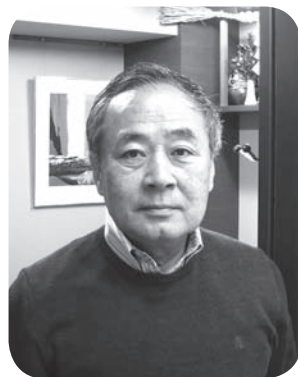
<http://www.obaakiko.com>

「大庭明子の電子空間」

C O N T E N T S

大庭明子さんプロフィール	表 2	六葉会ホームページリニューアル	8
副会長挨拶	1	六葉会活動報告	9
校長挨拶	2	クラブ活動レポート 演劇部 サッカー部	10
伊藤孝一先生 追悼文	3	同期会レポート	12
60 周年記念事業報告	4	親睦ゴルフ大会報告・お知らせ	16
母校で頑張る卒業生	6	第 62 回生学年幹事氏名・六浦祭・HDCお知らせ	17

人生の基となったもの



六葉会副会長 蒲谷 茂 (19 回生)

皆さん、こんにちは。六葉会副会長の蒲谷茂と申します。私は19回の卒業で島根六葉会会長のもと2期目(3年目)の副会長をつとめさせていただいております。昨年10月、母校は創立60周年の記念式典を挙行了しました。私ごとですが、私は1953年生

まれの母校と同年であり、まさに還暦を過ぎ心新たにしているところです。私は本学院の幼稚園に入園以来、居心地が良かったよう大学卒業まで18年間本学院に居させていただきました。小学校時代には葉山の学寮の自然学校で坂田先生にお教え戴いた記憶もあります。なにかのんびりした雰囲気の中で幼少期より学院生活を過ごしたように思います。いつの間にか前述のような年齢に相成りましたが学院で過ごした日々が私のベースになっているのは、昨今、深く感じているところです。さて本年も185名の新しい仲間が入会致しました。心より

歓迎を致します。同窓会とは普段は存在感も薄いものですが先輩方をはじめ各回の方々より学年会やクラス会を開催されるご連絡を戴くとやはりうれしいものです。「六葉会は大変な役割をしているな」と思うときです。どうか皆様方には六葉会をもっともっと活用していただきたいと思います。会報の発行、同窓会開催時の通信費の補助、総会の開催、母校六浦祭の開催時には六葉会の部屋を設営しホームカミングデーの式典と懇親会をひらいています。そしてなにより母校並びに在校生の支援を行っています。私たちが「人になれ 奉仕せよ」の校訓を念頭に微力を尽くしてまいります。運営に参加していただく方、行事に来訪される方、いつも心よりお待ちしております。会員の皆様のご健勝と御活躍をお祈り致します。

新たな時代に向けた 教育へのチャレンジ

関東学院六浦中学校・高等学校校長

黒畑 勝男



黒畑勝男（くろはた かつお）略歴
学校法人酪農学園 とうの森二愛高等学校副校長
1958（昭和33年）生まれ55歳
北海道札幌市出身
担当教科…英語
北星学園大学文学部卒業後 北海道立高等学校に教諭
として着任。道立高等学校退職後、とうの森二愛高等学
校教諭・立命館慶祥中学校・高等学校教頭などを経て、
2008年からとうの森二愛高等学校副校長に就任。

学校の歴史や建学精神の継承、今日のあり様や温度を知るのは、同窓会の刊行物からが多いものです。六葉会の会報やホームページで読む幹事長日記などから窺い知るのには、社会で活躍される諸氏の連帯する強い母校愛、それも坂田祐初代院長が折に触れ説かれた「人になれ 奉仕せよ」を若い胸に深く刻んだゆえの絆の強さでしょう。教育理念の浸透による結びつきの強さは、これまで見てきた色々な同窓会活動の中でもとても強いものと感じます。

「人になれ」とは自分のためだけではなく他者のために生きるということ、「奉仕せよ」とは自らが人のために働くこと。食するのと同じようにして日

常に語られ、実践され、受け継がれていく。これが確かに建学130年の歴史をつくり、60周年を迎えた関東学院六浦中学校・高等学校の存在意義を顕現してきたと胸を熱くします。そしてこの精神こそ、世界がますますボーダーレス化する今日において中心になるべき哲学、平和の維持増進の依拠するべき理念と確信します。

北海道の公立高校教員から始まり学校をいくつか経験してきました。この20年、全国を仕事で巡ることも多い中、またアジアの学校や高校生たちと交流の中で、日本の教育のベクトルがどの国よりも内向きであるということを痛感してきました。そうした思いにあつて

キリストを心に坂田祐と内村鑑三との接点で結ばれ、関東学院に導かれたと感じています。これまでの経験と教育への思いの終着として、新たな時代に向けた教育へのチャレンジを関東学院六浦で与えられたと思っています。

教育の今日的テーマは、子どもたちが独立して歩き始める10、20年後の社会を見据え、逞しくも優しく生きる力の芽を育てることです。六浦の素晴らしい環境、横浜の恵まれた地域資源、そして同窓諸氏の力強い応援のもと、「人になれ 奉仕せよ」を心に刻みつつ、教職員と二丸となりテーマを追求したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

追悼文

伊藤孝一先生

千葉 敏雄（30回生）



伊藤先生から校訓「人になれ 奉仕せよ」を習った自分がここにいます。

2013年7月某日、数ヶ月に1度高校時代の仲間が集う暑氣払い、遅れてきた同級生から「伊藤先生亡くなったらしい」と聞き、私は耳を疑いました。先生には3月に関東学院大学内でお会いしたばかりで、その時に私の人事異動が決まった話をする、「千葉、仕事頑張っているのだぞー」と激励してくださったばかりだったからです。しかし、先生が亡くなられたことが事実であると後日確認し、愕然としました。

先生は、私の高校2・3年生の担任であ

り、私が関東学院大学を卒業後に関東学院大学の職員として奉職しました関係で、卒業後も大変お世話になりました。先生は大学の教職課程でも教鞭を取られていたもので、その7年間、週に1度はお会いしていました。ある時、私が先生に、「高校時代は生意気な人間で、口答えばかりしていました。大変申し訳なかった。」とお話すると、「みんなそんなものだ。社会人になって頑張ってくれば嬉しいよ。」と温かい言葉をかけてくれました。娘が六浦高校の授業で先生にお世話になっていた時には、「お父さんが頑張っているぞ。」と娘にも話してください

ていました。私が人事異動後も先生のもとを尋ねると、今はどんな仕事をしているか話を聞いてくれ、同級生の皆は元氣か心配されて、卒業後もいつも私たちのことを気にかけて、見守ってくださいました。

2004年3月に先生の定年退職のお祝いを30回生の3年1組で行い、クラスの約半数のメンバーが集まりました。先生は1人ひとりに声をかけられ、みんなから「昔とまったく変わらないね」と言われると顔を赤らめ、怒った時と照れた時にすぐに顔を赤くなる昔と変わらぬ仕草でみんなを和ませていました。

数年前に大学の講師も退職されました。先生とは、かれこれ34年間ものお付き合いをさせていただき、出来の悪い私に、いつもいろいろな言葉をかけていただきました。その言葉の数々が仕事や人生の糧になったことを忘れません。先生が担任で本当に良かったと思います。

2013年3月、先生と偶然会って話した帰り際、わざわざ車から降りられ、笑顔で「おい、ちばー！横川・鈴木・三橋と家に遊びに来てよー！」と声をかけてくださり、「先生、夏にはみんなで行くからねー」と約束したことが頭から離れません。

伊藤先生のご冥福を心からお祈りいたします。

母校創立60周年 記念式典に参加して

六葉会 副会長 高橋 浩司(30回生)



母校関東学院六浦中学校・高等学校は平成25年、60周年を迎えました。当初、六浦校地は、三春台の関東学院中学校疎開先として開設されましたが、整備が整い三春台の地に戻った後も関東学院六浦として、六浦の地で開校し60年でありまふ。

草創期の先輩の中には、三春台の関東学院に入学して、六浦卒業の方もおられますが、1回生が卒業してから60年の間には、410の先生方にご薫陶を頂き、12、610人の卒業生を送り出して頂きました。卒業生それぞれに心温まる学院生活での先生や同級生達との思い出があることでしょう。

さて、その輝かしい歴史を讀み、平成二十五年十月九日、水曜日、十三時から横浜みなとみらい大ホールにおいて関東学院六浦中学校・高等学校創立60周年記念式典並びに記念コンサートが開催されました。

六葉会もご招待を頂き、島根会長以下、大勢の六葉会常任幹事の皆様と共に出席して参りました。式典では、河合校長に続き、島根正隆六葉会会長からも祝辞を申し上げさせて頂きました。式典終了後は、内藤彰氏指揮による東京ニューシティ管弦楽団の演奏と、ゲストのヴァイオリン奏者千住真理子さんの楽しいコンサートを観させて頂きました。



ゲストの千住真理子さんは、日本国文化大使派遣演奏家として国内外で活躍中、文化庁「芸術作品賞」、「村松賞」、「モービル音楽賞奨励賞」等各賞を受賞された新進気鋭のヴァイオリニストです。



創立60周年を記念して校歌の正式音源を残すこととなり、その制作費を六葉会からお祝いとしてお出しすることとなり式典において会長から校長先生へ贈呈致しました。

式典当日に頂いた記念品、絵ハガキです。

60周年記念行事をおえて

創立60周年記念事業実行委員長
関東学院六浦中学校教頭

澤 章敏

60周年記念行事の企画にあたって念頭においたのは、現役の在校生や教職員だけではなく、卒業生の方々、また、教職員OBにとつての記念行事でもある、ということでした。そこで、実行委員6名の教員のうちの3名は卒業生の教員としました(高石智、鈴木由美子、深野基)。そして、記念式典では、卒業生を代表して島根正隆会長にご祝辞をいただくとともに、在校生を代表して生徒会長からも祝辞を述べてもらい、卒業生、現役みんなの60周年であることを強調しました。さらに、式典は礼拝形式をとりましたが、そのパイプオルガンの演奏は、卒業生で本校音楽科の教員の深野基教諭が担当しました。

記念式典・公演会のほか、60周年にあたり校歌CDを作成しました。これまで校歌を公にする際の音源がなかったためです。現在の校歌だけでなく、この校歌が作られる以前の校歌も収録し、本校に関係するすべての方にとつての校歌CDとしました。

最後になりましたが、60周年にあたり、六葉会からは多額のご寄付をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。卒業生の皆様からの物心両面のバックアップは心強い限りです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



お子さんやお孫さんを母校に!!



岸田祐一先生(44回生)

卒業後の進路は
オレに任せろ!
母校で待っています。

英語の楽しい
プログラムもあります。
お子さんは
是非本校に!



深野 基先生(53回生)

鈴木由美子先生(42回生)



吹奏楽部顧問として
毎日楽しく
やっています!

鉄道を楽しむならウチしか
ありません。待ってます!

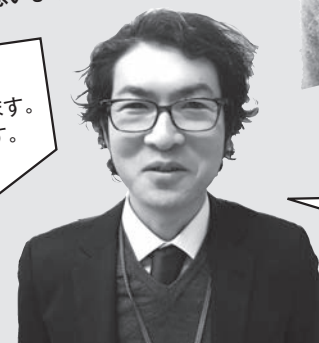


高石智一先生(43回生)



手塚裕貴先生(39回生)

古き佳き六浦の
伝統を守っています。
お待ちしております。



秋吉和史先生(35回生)

皆さんが学んだ時と
変わっていませんよ。
生徒一人ひとりを
重んじる良い
学校です。



菅原沙穂里先生(57回生)

同窓生が保護者となって
沢山来校されます。
あなたのお子さんも
是非本校に!!

皆さんが思っている
勉強だけでなく、本当に
様々なことを教えてくれる
学校です。



丸山瑞貴先生(54回生)

楽しく実験やっていますよ~♪



大高 健先生(45回生)

生徒一人一人に
温かく接してくれる
先生が
たくさんいる
良い学校です。



向井紫野先生(57回生)

山仲啓右先生(53回生)

楽しく歌おう!を
モットーに、可愛い
後輩達を前に
音楽の授業を
しております。

荒井貞先生の
直弟子です。
地理を担当しています。
野球部もやっています。



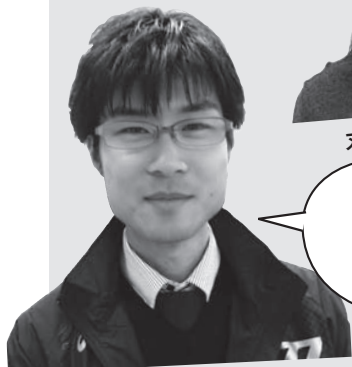
小貫直俊先生(33回生)

相変わらず
ゆったりとした
「関東六浦時間」が
流れています。



中田 努先生(34回生)

野本幸靖先生(47回生)



楽しい6年が
待っています。
お子さんは
母校にどうぞ!

【六浦祭】
今年度の六浦祭は2013年10月31日、11月1日に開催されました。例年よりも少しだけ来場者が少なかったように思われましたが、在校生たちの元気な声があちらこちらに聞かれ、卒業して30年たった私も生徒時代に戻ったような気持ちになりました。
六葉会では今年も恒例の「六葉会の部屋」を新館2階教員室前に開設いたしました。卒業アルバムを閲覧できるように展示してお茶の用意もしてくつろいで頂けるスペースを用意しました。在校生も多く来場し卒業アルバムに見入っていました。先生方の生徒時代の写真を探していたのでしょうか。微笑ましい光景でした。
2014年3月には、私たちの新しい仲間として第62回生185名を六葉会会員に迎えました。私は、六葉会常任幹事として、新会員との親睦を深め今年も六浦祭に参加し今まで以上に卒業生の会を活性化させたいと思っています。卒業生の皆様も是非、六浦祭にご来場いただき、在校生のキラキラした瞳と活気を体感していただきたいと思います。在校当時の自分を思い出されるのではないかと思います。
(甲斐深雪 31回生)



2013年度 六浦祭 & ホームカミングデー

六葉会の最大のイベントの一つであるホームカミングデーが今年度も六浦祭開催中の母校で行われました。六浦祭とホームカミングデーの様子をお伝えします。



【ホームカミングデー】
2013年11月1日、第9回ホームカミングデーが今年も六浦祭に合わせ開催されました。ホームカミングデーは、全ての卒業生を対象にした事業ですが、同期会やクラス会を開くきっかけになればと毎年5期ずつ招待状を送らせて頂いております。今回は47回生から52回生までの卒業生に招待状をお送りして行われました。
礼拝堂で式典礼拝後、会議室でティーパーティーが開かれ、級友や恩師の先生方と短い時間でありましたが楽しい時間を過ごしました。
最後には、参加者全員で記念撮影して盛会のうちにお開きとなりました。
卒業生であればなたでも参加出来ますので、六浦祭を楽しみながら学校内を見学し、ホームカミングデーの礼拝に参加するのはいかがでしょうか。卒業生の皆様の参加をお待ちしております。(近田裕信 28回生)



六葉会 ホームページが リニューアル されました

六葉会ホームページも開設から10年以上経ち、以前に比べ認知度も上がってきました。しかし、必要に応じてページを増築して、付け足して対応してきたため、使い勝手の悪さを感じるようになりました。また、一部が迷路のようになってしまい関連の無いページの羅列になっていました。
そこで、会員の皆様のリクエストにこたえられるように、カテゴリーをまとめ画面も極力シンプルにしてみました。



関東学院六浦中学校・高等学校 同窓会



Copyright 2003 - 2014 (C) Kanto Gakuin Junior high school / Senior high school reunion ROKUYOUKAI. All right reserved.

卒業生の皆様から一番アクセスの多い住所変更や、同期会・クラス会に向けての通信費補助のお問い合わせの件などすぐにわかるよう配慮いたしました。人気のある懐かしい恩師のインタビュー動画も引き続き掲載しております。
現在の母校の様子は直接学校のホームページやブログとリンクしましたので、すぐにご覧いただけます。また、新旧の校歌も聴くことができるようになりました。



携帯電話からの住所変更はこちらからどうぞ

六葉会

検索



リニューアルして見やすくなった
六葉会ホームページを是非ともご覧になってください。



2013年11月 六浦祭にて

サッカー部

サッカー部OB 荒井直彦

25 年生



2013年7月23日の六葉会常任幹事会でサッカー部顧問の中田先生より、報告があった。その内容は「明日は1次予選ブロックの決勝戦です。」私を知る限り久しぶりの母校サッカー部の活躍の話題であった。残念ながら、応援にも行けず、あとで結果を確認するとその相手は強豪で、シード校でもあり、2対0で敗退していた。試合終了後に流した選手たちの涙は、おそらく、試合に負けた悔しさよりも、6年間サッカーをやり遂げた事、そして引退する覚悟と仲間と離れる事が悲しくて泣いていたのだらうと想像している。サッカーを通して、これ

からの人生を踏まえると試合の勝敗が大事でないとはいえないが中学、高校時代に勝利ばかりを追いかけるプレーや指導が、必ずしもこれからの人生での活躍には直結しないと思う。

話は変わるが、毎年、母校の六浦祭の時期にサッカー部OB会の集まり「六就会」がある。一度卒業するとなかなか母校に来る機会がないが、たまには、OBとしてボールを蹴って人工芝を走る事や昔の仲間と会い、青春時代を思い出す事もいい気分転換になるので参加をお勧めしたい。今後の母校の発展とすべての卒業生の活躍を期待している。

演劇部



新海誠原作のラブストーリーリーアニメ「ほしのこえ」を上演中の演劇部を訪問しました。21世紀の半ばが舞台、中学の同級生美加子と昇、国連宇宙軍のパイロットに選ばれ宇宙へ飛び立って行った美加子は地球に残る昇と携帯メールで連絡を取り合うが、距離が離れるにつれてお互いのメールが届く時間も長くなっていくという、ピュアな恋愛とSF的な要素が奇妙なバランスでミックスしながら不思議で独特の世界観を醸し出すストーリー。このラブストーリーの出演者はふたり。美加子役を今井結子さん、昇役を金子

大志さんが演じ、演出・照明・音響を甲斐悠樹さんが担当。とても爽やかで素晴らしい舞台を拝見することができました。

2013年3月の横浜市高校演劇春季発表会では「Pride」を上演。優良賞・美術賞を受賞、また10月には同秋季大会で「ほしのこえ」で審査員特別賞を受賞、と輝かしい実績のある演劇部です。

部員は3人ですが、26回生の川井眞理子さん、顧問の鈴木由美子先生、原夏絵先生、立田たかね先生3人の先生方の指導の下、観ている人に「訴えることが出来る演技力」をめざして日々練習に励んでいます。



2013年11月2日 六浦祭での公演風景

第24回生同期会

7月7日(日)に 横須賀中央の「Angero」で行いました。参加人数は 63名でしたが、奥山先生と国近先生がお見えになりました。同級生がオーナーをしている横須賀中央のプールバー「Angero」を会場としてつかえたことで、長時間にわたって和やかな同窓会を開催することができました。遠方の人たちとも交流できるようSkypeを準備して飛び込み参加もできるようにしました。今回は代表幹事の他に各クラスの副幹事と、さらに数名の協力幹事を得たことで幹事の準備も熱を帯びて準備ができ、幹事の友好も深まりました。

5月15日に横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ 4Fの『茜の間』で29名が参加して同期会が行われました。同期会は60周年を迎え、お祝いとしてGODIVAチョコレート小箱に60周年のお祝いのメッセージカードを付け、出席者全員へお渡ししました。

2014〜2015年で私たちは傘寿を迎える年齢となりますが、生きがいを持ち、残された人生の毎日を有意義に、そして大切に送っているという会話が沢山見られました。

2時間、和気あいあいのうちに会は終了し、メとして、東京オリンピックまで、いや、リニア新幹線に乗って二期会をやるうではありませんかとなりました。

1回生同期会 一期会

第39回生クラス会



7月14日に京急田浦駅すぐ近くの同級生が経営する「Table 9」というお店でクラス会を行いました。参加人数は国近先生を含めて21人でした。

高校時代の思い出から近況報告まで時が経つのを忘れ、大いに語り合いました。

国近先生がお話を始めるとリラックスした中にも授業中のような心地よい緊張感に包まれたのが印象的でした。

2回生同期会

4月17日に2回生の同期会が行われました。

5回生同期会 互暉会



5月15日、風薫る好日に横浜「崎陽軒」にて関東学院六浦中・高等学校第5期生の同期会を開催いたしました。今年は卒業後56年目にあたり、感無量の思いの開催となりました。

出席者は27名(卒業生総数150名)と決して多数とはいえませんが、健康・気力に恵まれたラッキーな人達の集いだったと自負いたしております。あつという間の3時間、後半はカラオケに氣勢をあげてくれた強者も多数おりました。

同期会リポート

2013年度も14の学年やクラスで同窓会が開催されました。年代を超えてどんな親睦会が開催されたのか、皆さんからお寄せいただいたリポートを基にまとめてみました。恩師の先生方のお元気な様子もリポートから読み取れます。六葉会では住所録や通信費の補助金を用意して皆さんの同期会をサポートしています。このリポートを読んで同期会やクラス会をやりたという方は六葉会までご連絡ください。

第60回生1組2組クラス会

6月23日、バセリッツ横浜関内店において60回生の1、2組合同同窓会を開かせて頂きました。参加人数は生徒が40名、芹田先生と佐藤先生にも参加頂きました。

特別なイベントを用意していた訳ではありませんが、みなさん、食事と共に懐かしい話を咲かせておりました。帰り際に参加者から「同窓会開いてくれてありがとう」との言葉をたくさんもらい、幹事としては達成感で満ち溢れた会となりました。

また成長し、集まり合いたいと思える会でもありました。



第28回生同期会

9月14日、スカイビルの「横浜クルーズクルーズ」で行いました。参加人数は43名でしたが、海外(タイ)在住の同級生2名がDVDでメッセージを送ってくれました。

前回2年後開催(母校60周年記念)という年に同窓会を楽しみにしていた5組担任伊藤孝一先生がお亡くなりになられ、まずお祈りしてから開催をいたしました。

藤田進先生、福田淳恵先生、久松先生に出席していただき、楽しいひと時を過ごしました。



11月16日(土)にスカイビルの「クルーズクルーズ横浜」に65人の同期生が集まりました。高3時の担任の先生方(佐々木先生、犬塚先生、安達先生、山田先生、中田先生)にもご参加いただきました。卒業して15年ぶりに会う同級生も多く、2次会も40人ほど参加するなど、大変盛り上がる会となりました。次回も15年後、ではなく、数年後に開催しようと思っています。



47回生同期会

第20回生同期会 あかばっち

10月12日(土)横浜駅西口の「あんだんて」で「第8回 あかばっち」が行われました。大西先生、奥山先生、永野先生、細井先生、長谷川先生、塚田先生、矢部先生の7名の恩師にもご出席を賜り、90名以上の同窓生が集まりました。二次会はモアーズの「A&P」with terraceで行いました。



サッカー部OB会 六蹴会



11月2日(土)母校グラウンドで、恒例となりましたサッカー部OB会六蹴会を行いました。参加人数は約100名(在校生含む)でした。お天気にも恵まれ、1試合目にOB同士の対決、2試合目は1・2年生チームと、3試合目は2・3年生チームと、4試合目は高校生と試合をして、和やかなひと時を過ごしました。

3回生同期会 三暉会



2013/11/

11月22日(金)12時より、「横浜十番館」で行いました。伊藤清先生にもご出席いただき、同期生も40名が参加しました。

4回生 同期会



11月12日みなとみらい21地区を見渡せる「ナビオス横浜」にて伊藤清先生を含め27名の出席で同期会が開催されました。皆様後期高齢者ですが昔の話に花を咲かせ、盛大に終了することができました。松村先生と島田先生はご欠席されました。

60回生同期会



2014年1月13日(●●●●)で同期会を開催しました。今回は中学で卒業された方々も招待することができ、とても盛り上がりしました！中には、小学校からの院生も多くいて、「ここしか集まる場所がないので感謝してます」との言葉もいただきました。先生方もいれて総勢102人の皆様が集まることができました。

同期会の開催には、通信費補助金を差し上げます！

六葉会は同期会の開催をお手伝いさせていただく意味で、同期会やクラス会を開催する幹事さんに、1クラスにつき3,000円の通信費補助金を差し上げております。住所情報の提供もしております。

同期会終了後に以下のものを六葉会に提供していただけたら幸いです。

(1)更新した住所録
(2)同期会のレポート

皆さんの同期会が盛会となりますことを心よりお祈りしております。

18回生 高校3年5組クラス会

11月9日、上大岡「北海道」で、高校3年5組のクラス会を国近高龍先生をお迎えして22名の参加で開催いたしました。実に10年振りのクラス会。女性の参加者が2名でやや寂しいクラス会でしたが、会話の内容が体調、子供の結婚・孫定年延長等…。還暦を迎えた後のクラス会つくづく老けたなあと実感しました。



六浦祭

2014年10月31日(金)～11月1日(土)

今年も例年通り六浦祭が開催されます。催し物や模擬店も沢山出展される予定です。現役生徒たちの元気な姿を見にいらしゃいませんか。

第10回ホームカミングデー

式典：11月1日(土) 午前11時頃より
茶話会：正午頃より

日程等は変更する場合があります。ホームページでご確認いただくか事前にお問い合わせください。

六葉会の部屋では毎年お茶とお菓子を用意して皆様をお待ちしております。同窓の皆様が卒業アルバムなどをご覧いただきながら懐かしいお話で盛り上がっています。

会報のバックナンバーはホームページで

毎年、六葉会会員の皆さんにお届けしている「六葉会会報」は六葉会ホームページから過去に発行された17年分の会報をご覧にすることが出来ます。以前の会報をご覧になりたい方は是非、六葉会ホームページをご覧ください。「六葉会」→検索でご覧になれます。

六葉会では会報の一部をデジタル化してお知らせすることを視野に入れて検討中です。

六葉会ホームページには会報バックナンバーの他に次のような記事も載っています。

- 1 恩師の動画
六葉会ホームページの「ホームカミングデー」→「恩師の動画」懐かしい先生方にインタビューをしました。
- 2 同期会のお知らせ
同期会を開催するときは六葉会にご一報ください。お知らせをトップページに掲載させていただきます。
- 3 六葉会の日程
常任幹事会の日程も表示してあります。議事録も掲載してありますので会議の様子もわかります。ご協力いただける方は是非お出かけください。

※会報の印刷は当分の間、継続していきませんが、六葉会で進めている会報のデジタル化にご理解をいただき、六葉会ホームページをご覧くださいませようお願いします。

◎第62回生学年幹事の紹介

1組	★川原 一真	木村 祐介
2組	一宮 仁	金子 功
3組	高橋 実田	瀧沢 真歩
4組	西木健二郎	★本間 菜央
5組	後藤 雄歩	尾崎 春菜

クラス会や学年会の開催の際には六葉会にご連絡ください。
※最新の住所録をご用意します。
※通信費の補助金を差し上げます。
六葉会ホームページからご連絡下さい。

★印 常任幹事

■関東学院六葉会 〒236-8504 横浜市金沢区六浦東 1-50-1 TEL.045-781-2525

印刷：株式会社エイコープリント 2014.4

個展のお知らせ

この会報の表紙を描いて下さっている大庭さんの個展が開かれます

大庭明子 木版画展

4/16(水)～28(月) 11:00～18:00 4/22(火) 定休日
zushi art gallery 090-1652-9046 逗子市逗子5-11-31
<http://zushi-art.at.webry.info/>

2013年11月14日開催

第7回 卒業生親睦ゴルフ大会開催される!!

関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会

関東学院六浦中学校・高等学校
卒業生親睦ゴルフ大会に参加して

26 回生 柑本(相川)和美

私の大好きなコース、キングフィールズで卒業生コンペがあると同窓会で知り、5年前の第2回大会から参加させていただいています。ゴルフ歴二十数年、今では一番楽しみにゴルフ大会となりました。

美しく仕上がったキングフィールズで、懐かしい顔ぶれで思い出話をしながら大好きなゴルフが楽しめる。至福の1日です。

昨年の大会では、池越えの美しい11番でホールインワンを達成いたしました。カップインしたボールの写真を後輩の近田君が記念に撮ってくれたり、ゴルフ場からはエースボールを飾る素敵なトロフィーをいただき私の一生の宝物となりました。

いつも素晴らしいコースを提供してくださる7回生の鈴木オーナー、そして楽しいゴルフ大会を運営してくださる幹事の皆様、心より感謝しております。

第8回関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会

参加資格： 関東学院六浦中学校・高等学校卒業生・在籍歴のある方・先生(現役・退職問わず)

会場： キングフィールズゴルフクラブ

会費： 20,000円(プレー代・パーティ代)

日程： 2014年11月13日(木)

第9回関東学院三春台校・六浦校卒業生親睦ゴルフ大会

参加資格： 両校卒業生・在籍歴のある方・先生(現役・退職問わず)

会場： キングフィールズゴルフクラブ

会費： 12,000円(プレー代・パーティ代)朝食・昼食・ドリンクは自己負担となります

日程： 2014年6月9日(月)

どちらも、お一人でも参加できます。振ってご参加ください。

▼連絡先：武田正雄(7回生)

■045(321)5345 または 090(3515)1395 FAX045(324)0242

「君よ先輩に続け！」

「人になれ 奉仕せよ」の

校訓が、人をつくります。



高橋卓さん（22回生） 鎌倉市消防長

在学中身に付いた奉仕の精神から
消防士の道を選択し歩んで来ました。

牧島敬行さん（22回生） 横浜市内消防署署長

サッカー部で鍛えた体力と精神力が、
今の自分を支えています。

心躍る時間、未来へ続く道

関東学院六浦中学校・高等学校

〒 236-8504 横浜市金沢区六浦東 1-50-1 TEL.045-781-2525